

# がん化学療法指示書

登録番号 314

作成日 2022/1/12

レジメン名	ニボルマブ+XELOX療法
診療科・対象疾患	(外)HER2陰性 治療切除不能な進行・再発胃癌/食道胃接合部癌
投与間隔	3週毎
投与サイクル数	PDIになるまで

## Chemo Navi

薬剤名	成分名	投与量	投与日
オブジーボ	ニボルマブ	360mg/body	day1
オキサリプラチン	オキサリプラチン	130mg/m <sup>2</sup>	day1
カペシタビン	カペシタビン	備考欄参照	day1-14

	滴下順	抗癌剤	薬剤(成分名)	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール							
							day1						day21	
治療内容	注射	Rp1	生理食塩液	100mL	任意	ルート確保・フラッシュ用	●							
		Rp2	生理食塩液	100mL	30分	点滴静注メイン	●							
		癌	オブジーボ	360mg/body										
			総量を100mLにする											
		Rp3	生理食塩液	50mL	15分	経過観察・フラッシュ用	●							
		Rp4	パロノセトロン(0.75mg)	1袋	15分	点滴静注メイン	●							
			デキサート(6.6mg)	1瓶										
		Rp5	5%大塚糖液	250mL	120分	点滴静注メイン	●							
			デキサート(1.65mg)	1管										
			癌	オキサリプラチン	130mg/m <sup>2</sup>									
内服	カペシタビン:朝・夕食後30分以内に1日2回内服(Day1は夕食後から内服開始)													
その他必要薬剤														
総投与時間	3時間10分													
血管外漏出リスク	オブジーボ:非壊死性抗がん剤 オキサリプラチン:炎症性抗がん剤													
投与時の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オブジーボ(ニボルマブ)はフィルター付きルート要</li> <li>・シリコーン製のCVポートは蛋白質の凝集を認めるため、使用を避ける。</li> </ul>													
備考欄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カペシタビン</li> <li>1.36m<sup>2</sup>未満:1200mg/回</li> <li>1.36m<sup>2</sup>以上~1.66m<sup>2</sup>未満:1500mg/回</li> <li>1.66m<sup>2</sup>以上~1.96m<sup>2</sup>未満:1800mg/回</li> <li>1.96m<sup>2</sup>以上:2100mg/回</li> </ul> Infusion Reaction Grade2の場合、オブジーボ(ニボルマブ)の投与を直ちに中止する。1時間以内に回復する場合には、投与速度を50%減速して再開する。  Infusion Reaction経験例では、次回より投与30分前に以下薬剤で前処置を行う。 レスタミンコーワ10mg 5錠 アセトアミノフェン300mg 2錠													